



久保田由夫 ほっと通信



NO. 103
2020. 8月号
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



<季節の写真>

上は、わが家の畑の脇に育ったヒマワリ

下は、ブルーライトアップ (鹿教湯温泉)

◆日本人にとって毎年8月は、恒久平和と核兵器廃絶を祈念する月です。6日ヒロシマ、9日ナガサキ、15日は終戦の日です。◆原爆が投下されてから75年となった6日、核兵器禁止条約を新たに3か国が批准。9日新たに1か国が批准し、これで条約の発効に必要な批准国は50まであと6か国となりました。◆安倍晋三首相は広島でも長崎でも、核兵器禁止条約には一切触れず、参加を求める被爆者や被爆地市長の声に背を向けました。◆最新の世論調査でも国民の7割が「参加すべき」と答えています。安倍政権と世論の乖離(かいり)は明白です。被爆者の悲願と、唯一の戦争被爆国の国際的責務に応える、新しい政治が必要です。そのための市民と野党の共闘の発展が重要になっています。◆コロナ危機が続く中ですが、上田市にとって6月の日本遺産認定に続いて、7月には昨年9月に丸子地域の陣場台地にオープンした椀子ワイナリーと周辺が「ワールド・ベスト・ヴィンヤード2020」で、世界の約1800からベスト30位に選ばれる快挙となるニュースがありました。(関連記事は裏面に)◆ポストコロナ時代に備えてパソコンを使ったオンラインによる研修会にシフトしています。私も医療問題、地球温暖化防止対策、第62回自治体学校などはオンライン(Zoom:ズーム利用)で参加しています。◆医療や福祉等の従事者にエールを送る「ブルーライトアップ」事業が上田市でも行われています。(左に関連写真) 上田市は、「懸念される次なる波をできるだけ小さくするための、新型コロナウイルス感染症拡大防止と予防を徹底しましょう。」「偏見や誹謗中傷、誤った情報による差別的な言動をしないことを誓いましょう。」と呼びかけています。(くぼた よしお)

「城下のつどい」で新型コロナ、消費税、中国問題、野党連合政権で意見出し合う



城下地区後援会が主催する「つどい」があり、高村京子県議とともに参加しました。

参加者の関心のある4つのテーマで話し合いをしました。

★新型コロナ感染症について

⇒新型コロナの影響を受けている事業者や市民生活の状況を出し合い、国や県、市が進めている対策について説明しました。

※上田市では、長野県からの委託を受けて、PCR 検査の検体採取を行う上田地域検査センターを5月26日に設置。8/8日までの累計は121です。

★消費税引き下げについて

(参加者から)

・消費税を導入する際の理由は、社会保障に使うといったがそうならない。

・昔は、物品税といって37,500円以上の宝石などには15%の税金がかかっていた。消費税の導入で37,500円以下の商品は3%の税金がかかり、37,500円以上は15%から3%となり減税となった。高い買い物ができる人を優遇しているのが消費税だ。

・共産党は、消費税に代わる財源をどう考えているか。

⇒消費税ではなく、富裕層や大企業への優遇を改める税制改革や国民の所得を増やす経済改革について説明しました。

★中国(共産党)について

⇒日本共産党は、今年1月に開いた党大会で綱領を改定した。中国については、今回、「社会主義をめざす新しい探求が開始された国とみなす根拠はない」と判断した。変更した理由としては、10年余の中国の動向を見極め、事実と実体験に基づいてくださった結論。と説明しました。

(参加者から)

・独裁国家や民主主義を弾圧するような国は世界からなくなってほしい。

★野党連合政権への期待

(参加者から)

・民主党政権はなぜ失敗したのか。

・今の安倍政権は、「国民の幸せの原点を見失っている」

・野党が合意できない課題何か。

⇒昨年の参院選前には5野党・会派が「市民連合」と13項目の政策合意をした。

共産党は、一致点を豊かに広げるとともに、政治的・政策的な相違点については連合政権としてどう対応するか協議を続け合意点を見つけていく立場と説明

参加者からたくさんの意見がだされ有意義なつどいとなりました。

<おことわり> NO102号(7月号)が印刷した後、タイトルがおかしいことに気が付きました。変更したわけではなくミスでした。

あわせて、タイトルの左横の顔写真は、2012年5月に再生可能エネルギー先進国のドイツ、福祉先進国のデンマークを自費で視察した時のものです。また、右にある写真は、岩手県陸前高田市に2011年4月に支援に行った際の奇跡の一本松で、伐採保存される前のものです。